

## がくしゅうかだい（2ねんせい）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

### <べんきょうすること>

◆「スイミー」（きょうかしよ 63～76 ページ）にとりくみます。ここでは、お話をかんたんにまとめて、おうちの人にしょうかいする学習をします。

①64～74 ページを音読します。

②「スイミー」を読んで、おもしろかったところ、すきなところなどを、ノートや取組<sup>とりくみ</sup>シートに書いてみましょう。

③ここでスイミークイズです。64 ページからこたえを見つけましょう。こたえを見つけたら、その言葉に赤色で線をひきましょう。

だい1もん	スイミーは、どこでだれとくらしていますか。
だい2もん	スイミーが、だれよりもじょうずなことはなですか。
だい3もん	スイミーの色は、なに色ですか。

七月〇日 スイミー  
スイミーを読んだかんそう  
わたしはスイミーがすごいと思いま  
した。みんなで力をあわせて、大きな  
魚をおい出したからです。

④スイミーはどんな魚ですか。クイズで見つけたこたえをもとにして、文にしてみましょう。

（れい）・スイミーは、およぐのがはやくて、からす貝よりもまっくろな魚です。

※クイズのこたえが、ぜんぶ入ってなくてもよいです。

◆あたらしいかん字「岩（69 ページ）」～「光」（73 ページ）に、とりくみます。

### <保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・「スイミー」で学習することは、「お話を短くまとめる」ことが中心になります。
- ・「スイミー」は挿絵がとてもきれいな作品です。お子さんが感想を書く時は、一緒に挿絵を見て、「きれいな色のくらげだね。」などの声を掛けていただくと、想像が広がっていきます。
- ・「スイミーはどんな魚か」を文章にまとめる際は、様子が分かる言葉に着目できるように関わってあげてください。
- ・光村図書の HP「リンク集2年」に、レオ＝レオニさんの作品リストが掲載されています。
- ・ご家庭にレオ＝レオニさんの絵本がある場合は、その絵本も一緒に読むと興味をもつことができます。

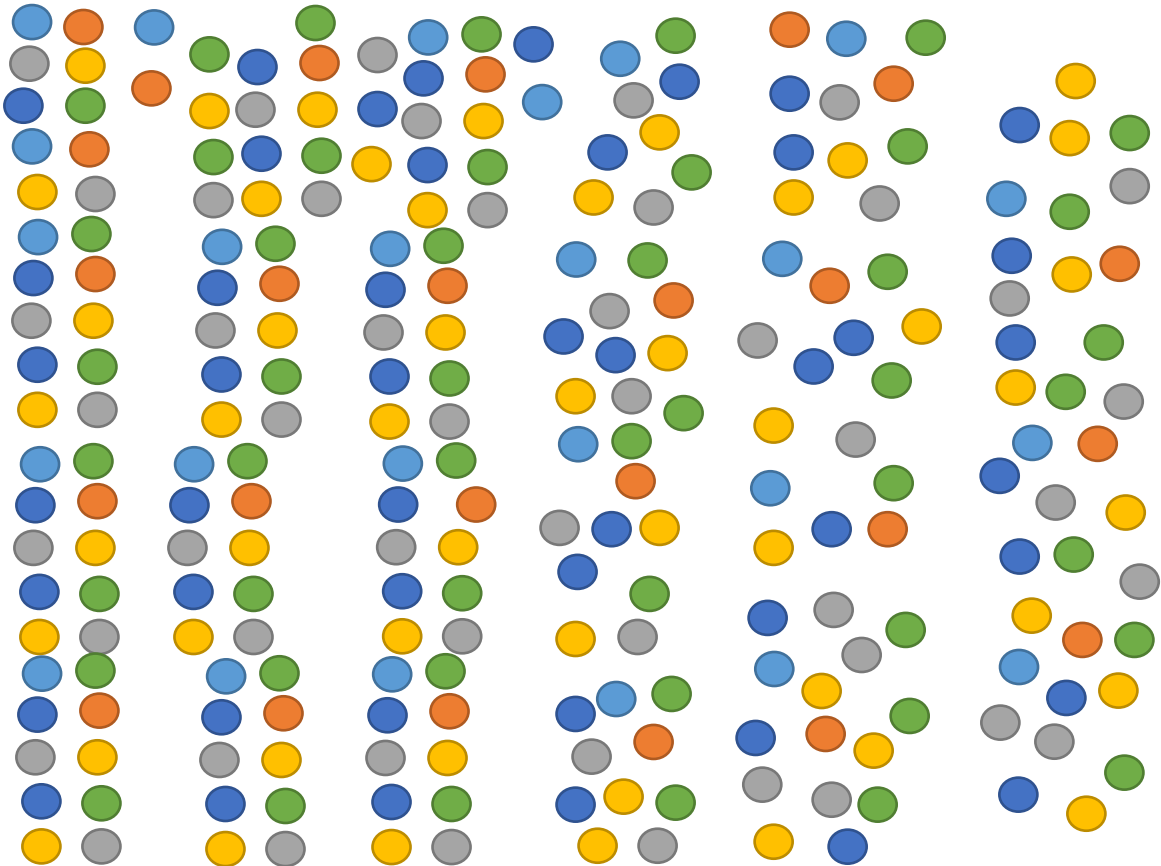
さんすう  
【算数】

「※」は勉強するときの先生からのアドバイスです。

<べんきょうすること>

◆100より大きい数（きょうかしよ 66～69 ページ）

ボールは 何こ あるかな。



何こ ぐらいあるかな。  こぐらい。

あれ？  
1こ ずつ 数えて いくと まちがえ そうだよ？

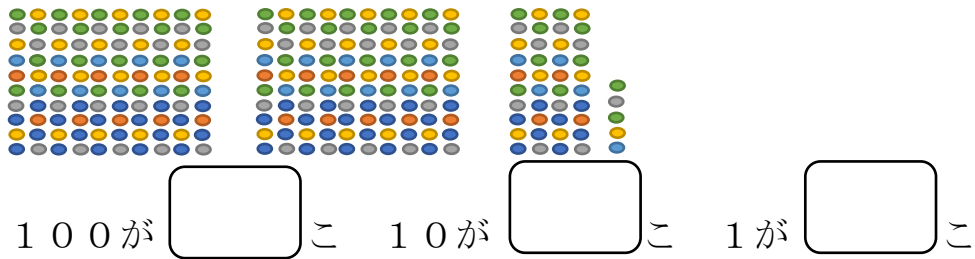


どうすると 数えやすく なるかな？

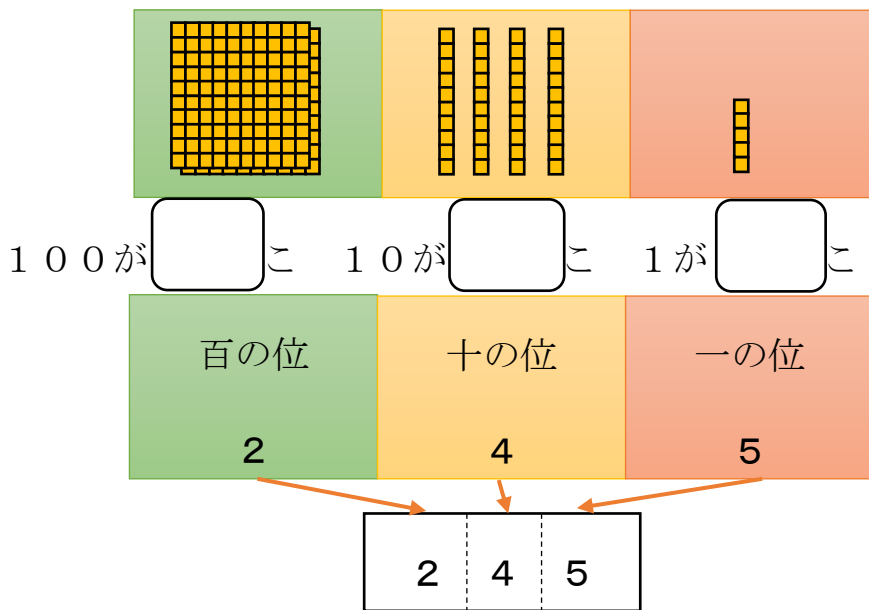
10こずつ まとめて 線で かこみましょう。

10のまとまりは  こできる。

100の まとまりは何こ できるでしょうか。  
また、そのほかに あと何こ あるでしょうか。



※100を 2こ あつめた数を、<sup>にひゃく</sup>二百 といいます。  
 二百と 四十五を あわせた数を、<sup>にひゃくよんじゅうご</sup>二百四十五 といいます。



※二百四十五は  
 245と書きます。  
 245の2は  
 百の<sup>くらい</sup>位の数字  
 で、200をあ  
 らわします。

<れんしゅうもんだい> 100を3こと、10を6こと、1を5こ  
 あわせた 数を 数字で 書きましょう。

<この <sup>べんきょう</sup>勉強で、わかったことや、きづいたこと、  
 おもしろかったところを、おうちのひとに お話ししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします

◆100より大きい数（教科書 P66～P69）

- ・単位のしくみのよさについて経験的に学ぶためにも、具体物を数える活動が大切です。10 や 20 程度の具体物を数えることはあっても、100 や 200 を数える経験は少ないです。日常的な場面で具体物を数える機会を多くしていき、まとまりで数えることのよさを実感できるようにしましょう。